

もっと!!

5 Lesson design tips for developing self-directed learners

# 自律した学習者が育つ授業設計の5つのコツ

その①

Have students identify a problem.

## 現実に関わりそうな課題に挑戦させる!



- ① 現実世界で起こりそうな問題解決に学習者を引き込む。
- ② 授業を受けることでのような問題が解決できるようになるのかを示す。
- ③ 解決すべき問題を徐々に難しくして何度もチャレンジさせ、問題同士で何が違うのかを明らかにする。

その②

Have them use their knowledge and skills.

## すでに知っている知識を動員させる!

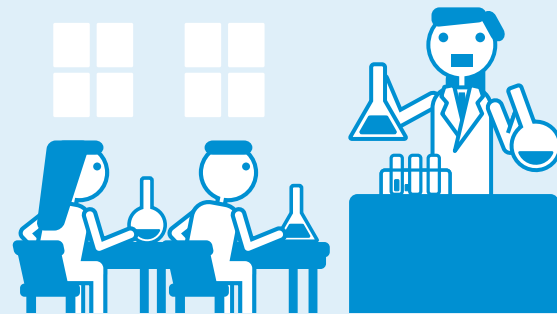


- ① これまでの知識や経験をフル動員させる。
- ② 新しく学ぶ知識の基礎になりそうな過去の経験から得た知識を思い出させ、関連づけ、記述させ、応用させるようにする。
- ③ 学習者がすでに知っている知識やスキルを使う機会を与える。

その③

Don't tell them, show them how.

## 例示がある!



- ① 新しく学ぶことを単に情報として「伝える」のではなく「例示」する。
- ② 一般論ではなく事例を中心に提示する。
- ③ 適切なガイダンス(指針)を学習者に与える。
- ④ メディアに教授上の意味を持たせて適切に活用する。

その④

Give them a chance to apply what they learned.

## 応用するチャンスがある!



- ① 新しく学んだ知識やスキルを使うような問題解決を学習者にさせる。
- ② 例示した後の応用するチャンスを用意する。
- ③ 練習のチャンスには必ずフィードバックを行い、適切なアドバイスや間違いの指摘をする。
- ④ 徐々に援助の手を少なくしていく。
- ⑤ 応用(練習)と事後テストをあらかじめ記述された(あるいは暗示された)学習目標と合致させる。

その⑤

Apply the new knowledge and skills in a real situation.

## 現場で活用し、振り返り、統合する!



- ① 授業の成果を現場で活用し、その成果を省察する機会がある。
- ② 学習者が新しい知識やスキルを日常生活の中に統合(転移)することを奨励する。
- ③ 学習者が新しい知識やスキルをみんなの前でデモンストレーションする機会を与える。
- ④ 学習者が新しい知識やスキルについて振り返り、話し合いをする機会を与える。
- ⑤ 学習者が新しい知識やスキルの使い方について自分なりのアイデアを考え、探索し、創出するように仕向ける。

参考: 鈴木克明(2015)「研修設計マニュアル:人材育成のためのインストラクショナルデザイン」北大路書房

<p>2017</p> <p>4 April</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p> <p>8 August</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p> <p>12 April</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p>	<p>5 May</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p> <p>9 September</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30</p> <p>1 January</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p>	<p>6 June</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30</p> <p>10 October</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p> <p>2 February</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28</p>	<p>7 July</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p> <p>11 November</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30</p> <p>3 March</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31</p>
---	--	--	---

**授業デザイン** 第28回 7月1日(土)・2日(日)  
**ワークショップ** 第29回 8月30日(水)・8月31日(木)・9月1日(金)  
 シラバスの書き方から成績評価まで「授業の基本」を集中的に学びます。

**FD・SDスキルアップ講座** 4月6日(木)・5月11日(木)~19日(金)  
 全16講座 8月10日(木)~9月14日(木)  
 「大人数講義法の基本」「効果的なeラーニング活用方法(超入門編)」など多様な講義を2時間で手軽に学べます。講義内容の詳細は4月末発行予定の研修プログラムガイドをご覧ください。

**授業コンサルテーションサービス(随時受付中)** 教育企画室スタッフが教室に入り、授業に対する学生のコメントを丁寧に聞き取ります。そのデータに基づいて、授業の強みと課題を発見し、更なる改善のお手伝いをいたします。